

2024年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔国語〕〔文学国語〕	2年	2単位	教科書	標準文学国語	副教材等	常用漢字ダブルクリア	履修対象・ 使用教室 等	2年Aライン* 1組 2組
教科・ 科目の 目標	「現代の国語」および「言語文化」で育成された資質・能力をさらに押し進め、深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を伸ばすために、書いて読んだりする資質・能力を伸ばすための学びと、我が国の言語文化に対する理解を深める。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に着けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深生にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に着けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。めだりすることができるようにする。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	国語科における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況。習得した知識・技術を既有的知識及び技術と関連付けたり活用する中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念などを理解したり、技術を習得したりしているか。	国語科の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけているか。			知識・技能及び技術を習得したり、思考力、判断力表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意識的な側面。				
評価 方法	*単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。困単元などの観点別								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	ペーパーテスト（単元テスト）	5, 6回			○	○			
	課題プリント、ノート提出の点検	5, 6回				○	○		
	授業の準備、取り組み（態度）	教師による行動観察・生徒による自己評価・相互評価			○	○	○		
	〔観点別配分％〕			(3観点の比重を%で示しています)					
月進行 (計画)	〔単元名〕 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔○△〕	
4 5	『調律師のみ子さん』『食事』		・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。			ペーパーテスト（単元テスト）	○	○	
						課題プリント、ノート提出の点検		○	○
						授業の準備、取り組み（態度）	○	○	○
6 7	『ナイン』		・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。						
8 9	『真珠の耳飾りの少女』								
10 11	『鼻』								
12 1	『こころ』								
2 3	『こころ』								
学習の アドバイス	教科書の忘れ物、授業中のトイレなどもチェックします。								